

子ども・子育て支援事業計画(地域子ども・子育て支援事業)の実施状況

令和3年3月31日現在

(1)利用者支援事業【特定型】

本市の 事業名	保育専門相談事業	所管課	保育課
------------	----------	-----	-----

単位:か所

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 (合計)①	3	3	3	3	3	3
確保 提供量	市全域 (合計)②	3	3	3	3	3	3
	緑区	1	1	1	1	1	1
	中央区	1	1	1	1	1	1
	南区	1	1	1	1	1	1
	②-①	0	0	0	0	0	0
実績	配置か所数 (市全域合計) ③	3					3
	確保提供量 (市全域合計) ④	3					3
	④-③	0					0
予算現額(千円)		36,160					41,797
決算額(千円)		34,264					38,984

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

各区の子育て支援センターに保育専門相談員を配置。令和2年度の窓口・電話の相談件数は38,688件と、令和元年度の33,451件より増加した。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

利用者の状況をすくすく保育アテンダントがきめ細かく伺うことにより、適切な保育サービスの利用や待機児童解消につながっていることから、今後も配置を継続していく。

【今後の取組の課題・方向性等】

女性の就労増加や保育所定員の増加による利用への期待感の高まりなど、近年の社会経済情勢を踏まえると、保育サービスの利用希望者は、当分の間、増加傾向となることが見込まれることから、増加する相談に適切に対応する必要がある。

子ども・子育て支援事業計画(地域子ども・子育て支援事業)の実施状況

令和3年3月31日現在

(1)利用者支援事業【母子保健型】

本市の事業名	母子保健型利用者支援事業	所管課	各区子育て支援センター
--------	--------------	-----	-------------

単位:か所

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成30年度
量の見込み	市全域(合計)①	3	3	3	3	3	
	市全域(合計)②	3	3	3	3	3	
確保提供量	緑区	1	1	1	1	1	
	中央区	1	1	1	1	1	
	南区	1	1	1	1	1	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績	配置か所数(市全域合計) ^③	3					3
	確保提供量(市全域合計) ^④	3					3
	④-③	0					0

単位:人

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成30年度
量の見込み	市全域	4,979	4,859	4,739	4,619	4,499	
確保提供量		4,605	4,548	4,487	4,425	4,359	
面接率		92.5%	93.6%	94.7%	95.8%	96.9%	
実績	母子手帳交付数(市全域)	4,815					5,099
	面接回数(市全域)	4,702					4,603
	面接率(市全域)	97.7%					90.3%
予算現額(千円)		29,326					
決算額(千円)		25,412					

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

令和2年度は、目標値92.5%に対し、97.7%にまで面接率が上昇した。その背景として、令和2年10月より各区民課・まちづくりセンターでの交付を廃止とし、すべて各子育て支援センター職員による交付に切り替えたためである。今後も引き続き、全数面接を目指し実施していく。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

不安や課題を抱えた妊産婦等が、安心して出産・育児に臨めるよう、母子健康手帳交付時から継続して支援を行っているが、より必要な支援をスムーズに行えるよう定期的にケースカンファレンスを行い、支援時期や支援内容について適宜見直しを図っている。
さらに、専任相談員の向けの研修を企画・実施し人材の育成に取り組むほか、自動翻訳機等を活用した母国語(なじみのある言語)での支援が行えるよう環境の整備を図っている。

【今後の取組の課題・方向性等】

妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援に向け、保健師による妊娠期からの全数面接にはかなり近づいてきている。
一方で、複数の課題を抱えた妊産婦等が増加している中、関係部署や関係機関とのスムーズな連携および多職種による支援が以前にも増して求められてきており、多様なニーズに対応できるよう社会福祉職等の配置が必要な状況となっている。

(2)地域子育て支援拠点事業

本市の事業名	地域子育て支援拠点事業	所管課	こども・若者支援課、保育課、こども家庭課
--------	-------------	-----	----------------------

単位:延べ人数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の見込み	市全域①	109,341	119,409	138,897	153,705	168,535	131,100
確保提供量	市全域②	109,341	119,409	138,897	153,705	168,535	131,100
	②-①	0	0	0	0	0	0
	実施箇所数(A)	26か所	28か所	32か所	35か所	38か所	27か所
実績	利用延べ人数(市全域合計)③	37,279					80,631
	確保提供量(市全域合計)④	37,279					80,631
	④-③	0					0
	実施箇所数(B)	26か所					25か所
	B-A	0か所					△2か所
予算現額(千円)		130,631					144,750
決算額(千円)		123,827					139,276

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

こどもセンターについては、実施箇所を11か所から12か所に拡充した。新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～6月中旬までは、こどもセンターを休館したことから、事業の実施についても休止したが、その後、順次再開し、マスク着用や利用者が密にならないよう声掛けや入館制限を行いながら実施した。保育所においては、公立保育所10園で実施し、利用延べ人数は、1,070人であった。(新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの事業が中止となり、前年比15,118人減少。)

地域の子育て広場(一般型・4か所)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日から休所し、6月16日以降、感染防止対策を図り予約制にて順次再開した。利用状況は、人数制限を設けていることから、1日あたりの平均利用組数が6.5組と前年度の約半数となった。

「パンビのぼれぼれ広場」は、運営団体からの申し出により3月末で閉所した。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

こどもセンターにおいては、実行委員会会長会議を実施し、各実行委員会間の情報共有や課題整理、解決を行った。

保育所においては、地域子育て支援に関する外部・内部研修の受講、情報交換、意見交換等を行う月1回の担当者会議の開催等により、担当職員の資質向上を図ることで、利用者に対し、きめ細やかなフォローが行えている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の子育て広場で毎月行っていた講習会も中止していたが、オンライン講座とすることで、講師やスタッフの感染防止対策を行いながら実施することができた。

【今後の取組の課題・方向性等】

こどもセンターにおいては、緊急事態宣言が発出された場合も、子育て親子の居場所づくりのため、継続し実施をしているが、飲食事業は令和2年3月より中止している。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み実施について検討していく。

地域の子育て広場(一般型・3か所)は、引き続き予約制とするなど、感染防止対策を図りながら継続する。

新型コロナウイルス感染症予防対策が求められる中、今後どのように事業を継続していくか、実施方法や内容について改めて検討していく必要がある。

(3) 妊婦健康診査

本市の 事業名	妊婦健康診査事業	所管課	こども家庭課
------------	----------	-----	--------

単位：延べ回数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 ①	62,062	61,942	61,822	61,702	61,582	82,160
確保 提供量	市全域 ②	62,062	61,942	61,822	61,702	61,582	82,160
	②－①	0	0	0	0	0	0
実績	対象延べ回数 (市全域合計) ③	57,562					60,920
	確保提供量 (市全域合計) ④	57,562					60,920
	④－③	0					0
予算現額（千円）		367,548					380,178
決算額（千円）		340,325					358,926

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

妊娠届出数が減少しているため、実績値も前年度と比べ下回っているが、必要な方に対する助成は十分に実施できている。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

平成28年1月に最大助成回数を14回から16回に、助成限度額を64,000円から90,000円に拡充を行った。令和2年度も、妊婦の経済的負担を軽減し、妊婦健診の受診の勧奨を推進したことで、安心して妊娠期を過ごせる環境を整えることができた。

【今後の取組の課題・方向性等】

安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう、母子健康手帳交付時の保健師による面接を充実させるとともに、母子健康手帳別冊やさがみはら子育てきずなLINE、電子母子健康手帳アプリ「さがプリコ」により妊婦健康診査の定期受診を促していくことで、引き続き、妊婦と胎児の健康管理を行っていく。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

本市の事業名	こんにちは赤ちゃん事業	所管課	こども家庭課、各区子育て支援センター
--------	-------------	-----	--------------------

単位:人

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の見込み	市全域 ①	4,781	4,661	4,541	4,421	4,301	5,135
確保提供量	市全域 ②	4,781	4,661	4,541	4,421	4,301	5,135
	②-①	0	0	0	0	0	0
	訪問率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績	対象人数 (市全域合計) ③	4,518					4,743
	確保提供量 (市全域合計) ④	3,991					4,396
	④-③	△ 527					△ 347
	訪問率	88.3%					92.7%
予算現額 (千円)		22,937					21,077
決算額 (千円)		20,702					20,212

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

訪問対象人数が徐々に減少している中、訪問実施率は90%以上と高めで安定していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「希望なし」が増加したため、訪問実施率の低下がみられた。
訪問できなかった理由としては、長期里帰り出産や海外滞在などもあるが、必要時電話支援を行い、長期里帰りの場合は積極的に他市へ訪問依頼を行った。訪問できなかった場合には4か月児健診で把握している。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

令和3年1月の相模原市子ども・子育て支援に関するアンケート実施結果によると、訪問に「満足」「やや満足」と答えた方は、86.4%である。また、訪問後「心配が解消された」「やや解消された」と答えた方は85.2%である。母子訪問相談員には保健師や助産師等の専門職を起用し、出産後の身体の変化や新生児の発育発達に熟知した職員の細やかな相談対応が育児不安軽減につながっている。今後も年1回の研修会及び情報交換会の実施を継続し、質的向上に取り組む。

【今後の取組の課題・方向性等】

悩みの多い出生後の早い時期に訪問できるよう実施することとともに、満足度や心配の解消した割合を上げられるよう、基本的な傾聴する態度や親の考えを尊重する気持ちを持ち従事すること、また、研修を通して資質の向上に努めることとする。訪問できなかった方に対しては、里帰り先の他市との連携を図り、里帰り中の赤ちゃん訪問を他市でも受けられることについて、積極的に市民に周知する。

(5) 養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

① 養育支援訪問事業

本市の事業名	養育支援家庭訪問事業	所管課	各区子育て支援センター
--------	------------	-----	-------------

単位：延べ回数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の見込み	市全域 ①	342	369	396	423	450	300
確保提供量	市全域 ②	342	369	396	423	450	300
	②－①	0	0	0	0	0	0
実績	対象延べ回数 (市全域合計) ③	263					279
	確保提供量 (市全域合計) ④	263					279
	④－③	0					0
予算現額 (千円)		3,655					3,507
決算額 (千円)		3,360					3,160

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

育児支援家庭訪問事業は延べ回数263回(内訳：育児指導232回、育児・家事援助31回)

コロナ感染症のまん延に伴い、訪問での支援に不安を抱き一時的に中断をした世帯もあり、昨年度の実績に比べ若干減少はしているが、ほぼ計画通りの実施が出来ている。母子保健班からの通告数が増えており、子育て世代包括支援センター機能としての役割が浸透していることが窺える。育児手技等を含めた育児指導の需要は今後も引き続き必要な状況がある。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

子育てに対する不安やストレスを抱えながらも、相談できる相手がいなかったり、精神不調を抱え、思うように子育てが出来ない状況にある家庭の把握に努め、適宜必要な家庭にスムーズに導入出来るよう、定期的に支援検討会議等でアセスメントを行い取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

家事援助については、毎年減少傾向にあるが、ケースの状況に合わせ必要に応じて導入に向け取り組んでいく。

(5) 養育支援訪問事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

② 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

本市の 事業名	要保護児童対策地域協議会 の運営	所管課	こども家庭課、 各区子育て支援センター
------------	---------------------	-----	------------------------

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額 (千円)		1,002				
決算額 (千円)		689				

令和元年度	3,838
	3,663

<p>【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会における代表者会議、実務者会議、ケース会議を運営し、要保護児童、要支援児童、特定妊婦に対し、適切な支援を実施した。(代表者会議:1回、実務者会議:9回、ケース会議:637回) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関を対象とした研修を中止した。
--

実績値の評価	A
--------	---

<p>【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】</p> <p>637回のケース会議を開催するなど、関係機関の間で必要なケース管理ができた と評価している。</p>

<p>【今後の取組の課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様で複雑な課題を抱える要保護児童等の家庭に対し、引き続き、要保護児童対策地域協議会の枠組みを活用し、関係機関が適切な役割分担と連携のもとで支援を実施できるよう、調整機関による総合調整、後方支援、人材育成等を実施する。 ・関係機関を対象とした研修については、感染防止対策を図りながら実施する。

(6)子育て短期支援事業

本市の 事業名	ショートステイ事業	所管課	こども家庭課
------------	-----------	-----	--------

単位:延べ人数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 ①	400	410	420	430	440	700
確保 提供量	市全域 ②	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,800
	②-①	800	790	780	770	760	1,100
実績	対象延べ人数 (市全域合計) ③	313					438
	確保提供量 (市全域合計) ④	1,200					1,800
	④-③	887					1,362
予算現額 (千円)		3,212					2,960
決算額 (千円)		1,924					2,574

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

18歳までの児童を対象に、市内乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設の4施設で実施し、利用を希望する世帯へ事業を提供することができた。
 利用実績:乳児院 延べ101人 児童養護施設 延べ109人 母子生活支援施設 延べ103人

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

実施施設と各区の子育て支援センターとの連絡会を開催し、各区の事例における課題の情報共有を図り、円滑な事業実施に取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

利用を希望する子育て家庭に事業を提供するため、市内4か所の実施施設を維持するとともに、事業の質の向上を図るため、引き続き、実施施設と各区の子育て支援センターとの連絡会などを実施する。

(7)子育て援助活動支援事業

本市の 事業名	ファミリー・サポート・センター事業	所管課	こども家庭課
------------	-------------------	-----	--------

単位:延べ人数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 ①	10,444	10,897	11,350	11,803	12,256	12,230
確保 提供量	市全域 ②	10,444	10,897	11,350	11,803	12,256	12,230
	②-①	0	0	0	0	0	0
実績	対象延べ人数 (市全域合計) ③	6,426					10,613
	確保提供量 (市全域合計) ④	6,426					10,613
	④-③	0					0
予算現額 (千円)		21,618					20,500
決算額 (千円)		19,527					20,482

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

- ・会員数2,787人(利用会員:2,100人、援助会員:625人、両方会員:62人)(前年度比:110人増)
- ・活動実績:6,426件(前年度比:4,187件減)
緊急事態宣言の発出に伴い、援助会員講習会の一部が中止(3回開催予定の内2回中止)となり、援助会員と両方会員の登録者を増やすことができなかった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、サポートを受けることを控える利用会員がいたため、活動件数が減少した。

実績値の評価

C

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

各会員の代表者や公立・民間保育所園長の代表、幼稚園長の代表、こどもセンター館長の代表で構成する「市ファミリー・サポート・センター運営委員会」を開催し、事業計画や事業実績、利用上の課題など、事業の円滑な運営や事業の拡充についての意見交換を行うなど、質的向上に取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

更なる事業の周知に努め、会員登録者の増加を図る。特に、利用会員と比べて援助会員の登録者が伸び悩んでいるため、子育て支援に意欲のある人への周知等、援助会員の登録者を増やすための取組を進める。

(8)一時預かり事業

【幼稚園在園児対象の預かり保育】

本市の 事業名	預かり保育	所管課	保育課
------------	-------	-----	-----

単位:延べ人数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 (合計)①	235,897	240,946	242,502	245,443	245,534	229,437
確保 提供量	市全域 (合計)②	235,897	240,946	242,502	245,443	245,534	229,437
	緑区	51,325	52,361	52,699	53,297	53,276	47,007
	中央区	74,609	76,187	76,679	77,626	77,671	91,889
	南区	109,963	112,398	113,124	114,520	114,587	90,541
	②-①	0	0	0	0	0	0
実績	対象延べ人数 (市全域合計) ③	124,545 (80,929)					233,815 (104,673)
	確保提供量 (市全域合計) ④	124,545 (80,929)					233,815 (104,673)
	④-③	0	0	0	0	0	0
予算現額 (千円)		58,612					57,179
決算額 (千円)		58,612					57,179

※実績の括弧内の数値は幼稚園型一時預かりの数値

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

預かり保育事業は、新型コロナウイルス感染拡大による、登園自粛等による利用減少の影響のため、実績は確保提供量見込みを下回っている。
なお、幼稚園型一時預かりを実施する子ども・子育て支援新制度への移行園は前年度から6園増加した。

実績値の評価

C

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

預かり保育は各幼稚園又は認定こども園が各園の方針により、それぞれ独自に内容を決定するものであるため、市としては、実施体制を維持できるよう、預かり保育に係る人件費及び保育経費に対する補助を今後も継続していく。

【今後の取組の課題・方向性等】

多様化する保育ニーズに対応するため、利用時間や実施日の拡大等、各幼稚園又は認定こども園が預かり保育を充実しやすいよう、保育体制充実加算といった補助メニューの実施を検討していく。

(8)一時預かり事業

【預かり保育以外】

本市の 事業名	一時保育事業 ファミリー・サポート・センター事業	所管課	保育課、こども家庭課
------------	-----------------------------	-----	------------

単位：延べ人数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 ①	27,566	26,825	26,113	25,429	24,771	31,467
確保 提供量	市全域 ②	27,566	26,825	26,113	25,429	24,771	31,467
	②－①	0	0	0	0	0	0
実績	対象延べ人数 (市全域合計) ③	16,165					27,032
	確保提供量 (市全域合計) ④	16,165					27,032
	④－③	0					0
予算現額（千円）		56,416					60,000
決算額（千円）		42,016					50,418

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

一時保育実施園は前年度から5園増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が想定よりも減少する結果となった。

ファミリー・サポート・センター事業については、前年度から未就学児童の利用登録が34人、活動実績が2,821件減少した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、サポートを受けることを控える利用会員がいたため活動件数が減少した。

実績値の評価

B

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

一時保育の利用者数は減少傾向ではあるが、突発的な理由や就労等で保育が必要になる場合において、必要不可欠な事業である。また、一時保育は、各保育所又は認定こども園が各園の方針により、それぞれ独自に内容を決定するものであるため、市としては、実施体制を維持できるよう、一時保育に係る人件費及び保育経費に対する補助を今後も継続していく。

ファミリー・サポート・センター事業については、各会員の代表者や公立・民間保育所園長の代表、幼稚園長の代表、こどもセンター館長の代表で構成する「市ファミリー・サポート・センター運営委員会」を開催し、事業計画や事業実績、利用上の課題など、事業の円滑な運営や事業の拡充についての意見交換を行うなど、質的向上に取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

各保育所又は認定こども園が一時保育を実施しやすいよう、補助を継続していく。更なるファミリー・サポート・センター事業の周知に努め、会員登録者の増加を図る。特に、利用会員と比べて援助会員の登録者が伸び悩んでいるため、子育て支援に意欲のある人への周知等、援助会員の登録者を増やすための取組を進める。

(9) 延長保育事業

本市の事業名	延長保育事業	所管課	保育課
--------	--------	-----	-----

単位：延べ人数/月

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の見込み	市全域(合計)①	15,298	15,756	16,229	16,716	17,217	14,460
確保提供量	市全域(合計)②	15,298	15,756	16,229	16,716	17,217	14,460
	緑区	3,516	3,621	3,730	3,842	3,957	2,980
	中央区	5,348	5,508	5,673	5,843	6,018	7,230
	南区	6,434	6,627	6,826	7,031	7,242	4,250
	②-①	0	0	0	0	0	0
実績	対象延べ人数(市全域合計)③	9,455					13,602
	確保提供量(市全域合計)④	9,455					13,602
	④-③	0	0	0	0	0	0
予算現額(千円)		247,495					230,748
決算額(千円)		222,312					217,619

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

事業者の協力を得て、市内全ての保育所、幼保連携型認定こども園及び小規模保育事業所において実施した。保育所の新規開設により事業の実施箇所は増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大のに伴い、利用実績は前年度と比較し、大幅に減少した。なお、量の見込みより実績値が下回っているが、必要な量は確保できている。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

保育士等に対して実施している各種研修等により保育の質の確保・向上を図ることにより、併せて延長保育の質的向上を図っており、提供する保育の内容には概ね満足いただいている。

【今後の取組の課題・方向性等】

保護者の就労形態の多様化、就労時間の長時間など、保育所等を利用する保護者の延長保育ニーズに対応するため、引き続き新規開設園を中心として実施施設の拡充を図る。

(10) 病児保育事業

本市の 事業名	病児・病後児保育事業	所管課	保育課
------------	------------	-----	-----

単位：延べ人数/年

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	市全域 ①	1,736	1,788	1,841	1,896	1,953	2,008
確保 提供量	市全域 ②	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	5,408
	②－①	3,144	3,092	3,039	2,984	2,927	3,400
実績	対象延べ人数 (市全域合計) ③	303					992
	確保提供量 (市全域合計) ④	4,880					4,752
	④－③	4,577	0	0	0	0	3,760
予算現額（千円）		46,284					44,509
決算額（千円）		45,023					41,276

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

前年度に引き続き市内計3施設で実施した。年間の利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、対前年比で689人(69.4%)減となったが、対象延べ人数に対して提供量の確保はされている。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

町田市及び八王子市と広域連携協定を締結し、利便性の向上を図った。
また、引き続き事業者の協力を得ながら、利用者のいない時間帯を活用した施設による近隣保育所等への支援等、病児・病後児保育ならではの地域サービスを提供し、質の高い保育の提供に努めていく。

【今後の取組の課題・方向性等】

確保提供量に対する延べ利用者人数が減少していることから、事業周知の充実等により、稼働率の上昇を目指す。
また、町田市及び八王子市との広域連携協定の効果を踏まえたうえで、その他の市町村との広域連携を検討し、更なる利便性の向上を進めていく。

(11)放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)

本市の事業名	放課後児童健全育成事業 (児童クラブ)	所管課	こども・若者支援課
--------	------------------------	-----	-----------

単位:人

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
量の 見込み	1年生	2,631	2,674	2,676	2,792	2,942	
	2年生	2,194	2,315	2,353	2,355	2,457	
	3年生	1,555	1,601	1,690	1,718	1,719	
	低学年計①	6,380	6,590	6,719	6,865	7,118	
	4年生	832	824	849	896	911	
	5年生	264	283	280	289	305	
	6年生	90	93	99	98	101	
	全学年計①	7,566	7,790	7,947	8,148	8,435	7,817
確保 提供量	市全域②	7,063	7,313	7,563	7,813	8,113	7,979
	市全域 (②-①)	△ 503	△ 477	△ 384	△ 335	△ 322	162
	市全域 (②-①)	683	723	844	948	995	
実績	申請者数 (市全域 合計)③	6,040					6,881
	入会者数 (市全域 合計)④	5,667					6,813
	④-③	△ 373					△ 68
予算現額 (千円)		1,803,128					905,323
決算額 (千円)		1,585,392					847,934

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の臨時休業等が発生したが、換気、消毒、マスク着用の徹底や児童が密にならないよう声掛けを行いながら実施した。

実績値の評価

A

【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】

新型コロナウイルスの影響により書面ではあるが、運営委員長会議を開催し、抱えている課題の情報共有を図り、児童のケガ再発防止等に取り組んでいる。

【今後の取組の課題・方向性等】

今後、緊急事態宣言等が発出され学校の臨時休業等が発生した場合、午前からの運営になることも予想されるため、働き手の確保が課題である。
新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを用い、施設と連携し引き続き感染症対策を行い運営する。

(12)実費徴収に係る補足給付を行う事業

本市の 事業名	実費徴収補足給付事業	所管課	保育課
------------	------------	-----	-----

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度
予算現額（千円）		28,000					18,310
決算額（千円）		5,191					4,090

【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】

令和元年10月から給付対象が変わったため、初めて年間を通しての給付となった。新型コロナウイルス感染症による休園の影響等もあり、請求率が低く、上限額まで請求する対象者が少なかったため執行残が発生した。

実績値の評価

A

【今後の取組の課題・方向性等】

新型コロナウイルス感染症による収入面への影響のため、給付対象者の増加が予想される。今後も円滑な事業実施を行い、給付を継続していく。

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

本市の 事業名	新規参入施設等巡回支援事業	所管課	こども・若者政策課
------------	---------------	-----	-----------

<参考>

項目	区域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額 (千円)		11,657				
決算額 (千円)		11,657				

令和元年度
11,655
11,655

<p>【令和2年度の実施状況(事業の実績値に基づく評価)】</p> <p>巡回支援員として保育士3名(うち2名は園長経験者)を配置し、新規開設園を中心に、児童の年齢や発達に応じた保育の実施、衛生面や事故防止に配慮した環境づくりなど保育の質の確保に向けた指導・助言を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、一部電話による支援を行った。</p> <p>[令和2年度実績 巡回実施施設:47施設 延べ巡回回数:104回]</p>	<p>実績値の評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
---	--

<p>【利用者等からの意見を踏まえた質の向上の取組・評価】</p> <p>巡回支援員に対し、保育現場で必要となる技術や知識の向上に資する研修を受講させるなど、助言・指導の実施にあたり必要となるスキルアップを図るとともに、実地指導への同行により、設備や運営に関する基準や給付制度など運営面における制度への理解も深めていくよう工夫している。巡回した施設からは、特に保育現場で生じる課題や問題に関し、「安心・安全な保育や事故防止に対する指導が的確」「保護者対応へのアドバイスが役に立つ」といった、好意的な意見をいただいている。</p>
--

<p>【今後の取組の課題・方向性等】</p> <p>支援員の専門性の向上を図りつつ、引き続き、運営面を含め、保育の質の確保・向上に向けた指導・助言を行っていく。</p>
--